

2015
8月
第56号

かい
海
公民館報

よう
陽



阿波海南文化村(工芸館)での藍染め体験



海南子ども館 お茶教室



突喰ドリーム館 祇園太鼓教室



海陽町教育委員会

地方創生によせて

海陽町では、将来の人口減少で限界集落より消滅集落の話題が出ているようですが、では私たちはどうするのか。

旧海部町は、全国でも珍しく自殺する人の少ない特異な町です。若い人たちが移住してくれば良いのですが、全国のお年寄りに健康で長生きしたかったら、「水、空気、自然環境に恵まれ、人情きめ細やかで仏のおはす町、海陽町へと」アピールしましょう。

そのために、子育て支援・教育・医療・介護と行政・議会・学校・社協と地域（公民館）が一体となって住みよいコミュニティの形成に努力していきましょう。

海陽町には、県下一がたくさんあります。

- ・ 清流海部川
- ・ 白砂青松の大里松原
- ・ 轟の滝
- ・ 海老ヶ池
- ・ 水床湾
- ・ 鮪船の基地 竹ヶ島
- ・ 祇園祭り
- ・ 大里八幡神社の秋祭り
- ・ 港柱神社の赤ちゃんの土俵入り



など、あげればきりがありません。

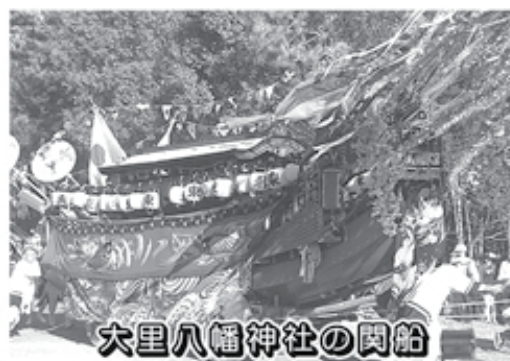
このように素晴らしい景観、伝統行事、文化に恵まれた本町をよりよくしていくために町民が一丸となって住みよい町を創りましょう。できる範囲でいいのです。ゴミを拾うのも、草を刈るのもいいでしょう。季節の花も植えましょう。私は気持ちの良いあいさつ運動をやっていこうと思います。

私は、祭りが好きです。そしてこの町が好きです。この町をアピールする一つとして、鞆浦の関船を徳島市の鷲の門の前に引き出し、その前で赤ちゃんの土俵入りを氏子の皆さんとしてみたいです。併せて6次産業展も一緒に。

皆さん前に前に少しずつスクラムを組んでやってみましょう。夢を語り合しましょう。小さくても、素敵なコミュニティ創りにご協力ください。

海陽町公民館長

乃 一 俊 治



川上樫ノ瀬地区の虫送り



6月7日(日)に、海陽町川上樫ノ瀬地区にて「虫送り」が行われました。

虫送りは、田植えが終わった後、ウンカなど稲につく害虫を追い払い豊作を祈願して行われる年中行事です。

古くから四国また徳島県内でも各地で行われていましたが、県内で現在でも行われているのは、この海陽町川上樫ノ瀬地区の他ごくわずかだそうす。

行事は、11時から曹洞宗高西寺で読経の後、住職を先頭に、参加者が、鉦、太鼓、槍、長刀、御祈祷札、短冊、虫入れ、依代などをそれぞれ持ち、あぜ道を通って近くの海部川の河原まで歩いていきます。

その際、「さいとこ べつとこ すってんとん いーねのむーしゃ とーさいけー」と一斉に合唱しながら出発します。河原では、皆で道具を川に流した後、御祈祷札を水田の端に挿して帰ります。その後、皆で会食(直会)をします。

「さいとこ べつとこ」というのは、「齋藤 別当」という意味で、『平家物語』でも有名な齋藤実盛という平家方の武将を指しています。実盛は、乗っていた馬が稲の切株につまづい



たところを討ち取られてしまい、その怨念が稲を食い荒らす害虫になったという言い伝えがあります。ウンカを実盛虫と呼ぶ地域もあるそうです。

虫送りには、実盛の怨念を弔って稲につく害虫を追い払おうという農民の願いがこめられています。また、虫を殺すのではなく、追い出そうという考え方が基本に流れており、人間にとって害虫といえども共存しようという古来の人たちの優しい考え方がうかがわれます。

後世に受け継いでいきたい行事であり、精神ですね。

(地域おこし協力隊 島田佳香)

「人権力」ですみよい町に！

格差と人権③

社会教育指導員 佐藤和久

教育格差問題

教育格差とは、生まれたときの環境によって受けることのできる教育に差が生まれることです。では、なぜ教育格差が生まれたのか、香川大学の前川史彦氏はその原因を「高度成長期に出てきた国民の学力レベルを広く底上げしようという考え方から、一部のエリートさえ育てばよいという考えに変わったところにある」と分析しています。

エリート偏重の一端として、2002年に教育の規制緩和が行われました。このことにより、学区の廃止や学校設置者の自由化などが進められました。言い換えると、教育の民営化が進められたということです。これがどうして教育格差拡大につながるのでしょうか。民営化が進む

と当然、教育の営利化も進みます。教育に関する様々なことが商品化されます。お金がないものは質の高い教育が受けにくくなります。経済格差がそのまま教育格差につながるわけです。



東大合格者が多い高校の上位校は、ほとんどが高額な費用がかかる私立校です。合格者世帯の平均年収は、日本全体の世帯平均年収の約2倍であるというデータもあります。小学校の全国学力テストで47都道府県中1

位(中学は2位)は秋田県です。ところが、大学進学率は36位です。厚生労働省の調査では、秋田県の世帯平均年収は全国43位です。県民意識として、大学進学にそれほど価値を置かないということも考えられますが、仮に地方から都会の大学に入ろうとするならば学費だけでなく、住居費など多くの費用が必要となってきます。経済的問題は避けては通れないのです。このようなことを考えると、教育格差が経済格差や地域格差と密接につながっているというのは否定できない事実のように思います。

「勉強すれば、誰でも報われる」大人はそう言って子どもたちを励ましてきました。しかし、現実はそのはいかなくなっています。格差がさらに広がっていくと、経済的に余裕のある家庭とそうでない家庭の子どもとの学力はさらに開くばかりです。教育基本法第3条には、「すべて国民は、等しく、その能力に

応ずる教育を受ける機会を与えられなければならないものであって、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地もんちによって、教育上差別されない」と書かれています。学力や教育を受ける機会が経済的格差に左右されてはいけません。

日本の教育に掛ける国の予算は、残念なことですが国内総生産(GDP)比率で先進国中最も低いレベルです。「教育の機会均等」が損なわれないようにするためには、大学卒業までできるだけお金がかからないようなシステムを国が作る必要があります。また、それと並行して、経済的格差を是正していくことも行っていかなくてはなりません。生まれたときの環境によって、受けることのできる教育に差が生まれません。大人は子どもたちの将来を保障していかなくてはならないと思うのです。今回は、人権侵害の要素を持つ「格差」がなぜ広がってきたのか、その原因となる構造を探ってみたいと思います。

大人気！藍染め体験

海南文化村にある工芸館では、地元徳島のあくもをつかった伝統的な本藍染めを手軽に体験できます。ハンカチやTシャツなどの染め体験ができ、当日あくは持ち帰りができるのも魅力のひとつです。7月2日、海陽幼稚園の年長さんたちが運動会で使うTシャツ染めを体験しました。



みんなで「あめふりくまのこ」を歌いながら、染め付けしました♪



最後は、できあがったTシャツを鏡の前で合わせてみました。



ジヤブジヤブ洗って、どんな模様に仕上がったか、模様のでき具合も楽しみましょう。

藍染め体験 水曜日(要問い合わせ) 場所：阿波海南文化村 工芸館

放課後子ども教室の様子



◀海南子ども館の様子

海南子ども館ではお茶教室を行っています。高学年の子どもたちは慣れた手つきでお茶をたて、低学年の子どもたちも、行儀よく正座しお茶とお菓子を頂いていました。お茶をいただいた後はみんな自分でお茶碗を洗い片付けをします。日本の伝統文化だけでなく、行儀作法も学べる良い機会となっています。



◀穴喰ドリーム館の様子

7月7日、穴喰ドリーム館で祇園太鼓教室がありました。だんじりに欠かせない、この太鼓のリズムを後世に継承していくため穴喰祇園祭りの前に毎年この教室を開催しています。はじめは不安顔だった子どもたちもリズムを覚え、太鼓の楽しさ、おもしろさを知り、積極的に練習に取り組んでいました。

中学校郡総体



【野球】 6月20日(土)～22日(月) 会場…蛇王球場

■優勝…海陽中

1回戦…海陽中 2 - 1 牟岐中

2回戦…由岐中 3 - 1 穴喰中

3回戦…海陽中 4 - 2 日和佐中

決勝…海陽中 7 - 0 由岐中

【サッカー】 6月20日(土) 会場…日和佐中学校

■優勝…海陽中 海陽中 2 - 0 日和佐中



【バスケットボール】 6月20日(土) 会場…牟岐中学校



■男子の部 準優勝…海陽中

リーグ戦 ①牟岐中 2勝 ②海陽中 1勝1敗 ③穴喰中 2敗

■女子の部 優勝…海陽中・牟岐中 準優勝…穴喰中

リーグ戦 ①海陽中・牟岐中 1勝 ②穴喰中 1敗

【バレーボール】 6月20日(土)・21日(日) 会場…海陽中学校

準優勝…海陽中

リーグ戦

①牟岐中 4勝 ②海陽中 3勝1敗 ③日和佐中 2勝2敗

④穴喰中 1勝3敗 ⑤由岐中 4敗



【卓球】 6月20日(土) 会場…穴喰中学校



■男子団体

優勝…海陽中

海陽中 3 - 1 由岐中

■女子団体

優勝…海陽中

海陽中 3 - 0 由岐中

■男子個人戦 (4名県総体個人戦出場・海陽中)

準優勝…鎌田 匡平 5位…高松 優大

6位…柳口 聖貴 7位…丸岡 隆聖

■女子個人戦 (6名県総体個人戦出場・海陽中)

優勝…ラフォンテス真理 準優勝…谷川真那加

3位…片田 成美 4位…山影 明加

6位…北村 万葉 7位…築地 真生

【相撲】 7月2日(水) 会場…牟岐中学校

■団体

総合の部 1位…穴喰中 2位…日和佐中 3位…海陽中

2年の部 1位…由岐中 2位…牟岐中 3位…穴喰中

1年の部 1位…海陽中 2位…穴喰中 3位…由岐中

■個人

1年優勝…溝内将人(海陽中) 2年優勝…西山璃音(穴喰中) 3年優勝…黒越大河(穴喰中)



海部郡小学生バレーボール大会

6月6日(土) 場所：日和佐小学校体育館

『27年ぶり優勝』

優勝：穴喰杉の子A

準優勝：日和佐

〈決勝戦〉

穴喰杉の子A 2 (21-14) (21-15) 0 日和佐



優勝した穴喰杉の子A

試合順	Aブロック		
①	由岐	2-1	穴喰B
③	穴喰A	2-0	穴喰B
⑤	穴喰A	2-0	由岐

試合順	Bブロック		
②	海南	2-0	牟岐
④	日和佐	2-0	牟岐
⑥	日和佐	2-0	海南

第10回 壮年軟式野球海陽大会

開催日：平成27年6月7日(日) 平成27年6月14日(日)
場所：蛇王運動公園野球場



優勝：日和佐名球会 準優勝：海南クラブ

(6月14日) 蛇王球場

3-10

①

牟岐クラブ
辞退のため不戦勝

11-4

(6月7日) 蛇王球場

0-7

1-1

ジャンケンで
日和佐の勝ち

0-8

那賀川
ドン
グアン

牟岐
クラブ

海南
クラブ

日和佐
名球会

山口
北斗OS

徳島
オール
ド
クラブ

見能林
オール
スター

1st session・2nd season - period -

徳島県南地域

県南4市町(海陽町・牟岐町・阿南市・小松島市)
with 公財)徳島県埋蔵文化財センター 合同企画展

長国の埋蔵文化財

第貳回

旧石器・縄文時代 in 海陽

展示 場所 阿波海南文化村 海陽町立博物館

期間 平成27年8月29日(土)～9月27日(日)

(月曜日休館、但し9月21日開館、9月24日休館)

開館時間 9時～17時

講演 場所 阿波海南文化村 海南文化館大会議室(定員60名)

日時 平成27年8月30日(日)13時30分～

「徳島の先史時代」(60分)

講師 公財)徳島県埋蔵文化財センター課長補佐 氏家敏之
事例報告

阿南市・小松島市・海陽町



主催 海陽町教育委員会

共催 牟岐町教育委員会・阿南市・小松島市・公財)徳島県埋蔵文化財センター

連絡先 阿波海南文化村 海陽町立博物館 (0884) 73-4080

※展示・講演への入場は無料です。

海陽町から日本の
プロサーファー誕生!

2014年度日本プロサーフィン連盟(JPSA)主催の公式試合において、海陽町出身・在住のプロサーファー辻裕次郎選手が年間総合優勝を果たし、名実ともに日本一のサーファーの座に輝きました。

これは海陽町および徳島県人としても初の快挙であり、世界的なサーフポイントを数多く有する海陽町において、今後地域に特化したスポーツ文化、また観光資源としてサーフィンを取り入れていく上でも非常に大きな一歩となりました。

辻選手は今年6月に生見海岸で開催された JPSA 第2戦でも見事優勝を飾り、2015年度も勢いを止めることなく連覇を目指して躍進中!

自身のHPやFaceBookページでも活動を発信しておりますので、

町内の皆様も是非シェア&ご支援よろしくお願い致します。

◆ 辻裕次郎公式ホームページ www.yujirotsuji.com

◆ 辻裕次郎公式 FaceBook ページ <https://www.facebook.com/yujirotsuji.official?fref=ts>



県人初の日本一サーファーとして
徳島県飯泉知事を表敬訪問

「体協サーフィン部誕生」



この度海陽町体育協会にサーフィン部が正式に入会致しました。

現在、メンバーは学生12名、社会人10名の計22名。

現役選手として国内外を舞台に業界第一線で活躍している社会人プロサーファーを筆頭に、学生の中にも全国大会や世界大会の代表選手として活躍している選手が多く在籍しています。

6月に開催された日本サーフィン連盟主催のジュニアオープンサーフィン選手権では、ジュニアクラスで西慶司郎（靱浦・未来高等学校2年）が優勝、黒川楓海都（海部高等学校2年）が準優勝、ボーイズクラスで上山キアヌ（穴喰中学3年）が準優勝、西優司（海陽中学3年）が5位と好成績を収め、更に同月、東洋町生見

海岸で開催された日本プロサーフィン連盟&世界サーフィン連盟の公式試合では、安室丈（穴喰中学3年）が13位、黒川楓海都が17位入賞しプロ資格を取得するなど、地元出身者が全国区で活躍しています。

こうした優秀な逸材を数多く輩出する背景には、海部川河口をはじめとする国内有数の良質な波が打ち寄せる恵まれた自然環境の存在が挙げられますが、これは海陽町が世界に誇る素晴らしい自然財産の一つだと私たちサーファーは考えます。

そして、その魅力に惹かれ町を訪れるサーファーの数は年々増加し、プロサーファーを目指して親子で移住してくるケースも増えています。

私たちは海陽町体育協会のサーフィン部として、そうした観光客や移住者の受け入れ、また学生が学業と選手活動を両立するために必要な仕組み作りを企画実行し、地元住民や学校とサーファーが互いに気持ちよく共存できる関係性を築ける環境作りを目指します。また、町民の皆様にサーフィンというスポーツ、文化の素晴らしさを伝え、それが自分達の故郷に対する想いをさらに深めるきっかけになるよう、地域内での普及活動も積極的に行っていきたいと思っております。

サーフィンを海陽町の特化した自然環境に直結したスポーツ文化として町内外の皆様に認知していただくことが、経済効果の波及や、人口流出・過疎化など地域が抱える様々な問題解決の糸口となり、今後の地域発展に繋がることを期待し活動して参りますので、皆様の御支援御協力どうぞよろしくお願い致します。



辻裕次郎プロ自@海部川河口
(撮影：吉永智尋)

部長：永原 レキ

穴喰俳句

七月例会より

無住寺のなかの紫陽花しずかなり 中島 時
 南瓜のずっしり重し艶も良し 陸田ヨネ子
 亡き姉の居た証しなり軒簾 元木栄子
 衣替昨日と違う道を行く 新井駿也
 地下街で蕎麦の定食半夏生^{はんげしょう} 間戸谷恵子
 変換の手間どるメール梅雨最中 鍛冶田 晟
 車椅子連ね見ている濃紫陽花 長岡達江
 時計草初めて咲いた夏至の朝 中岡啓泰
 濃紫陽花雨の匂いの満つる庭 外山千佳
 つつじ咲く角を曲がればわが家かな 梅田千恵子
 夏帽子遊覧船の客となる 川野佳代
 衣替して病床の母微笑みぬ 新井久実
 大の字の父のまはりを裸の子 元木朱子
 七月や浜に仮設のカフェテラス 寺崎照代
 一丁でこと足る豆腐夏夕べ 木下野生

海南俳句

六月例会より

除草剤効かぬと小言田草取り 鍛冶崎郁夫
 畔道で今年も出逢えた文字摺草 廣瀬克子
 父の日やきせる煙草をふかす亡父^{ちち} 橋本幸子
 ほたる狩淡き思い出ふりかえる 津川須美江
 高速度気分壮快萩の花 坂本節子
 さらさらと風吹いてある虫送り 田中たち子
 雲低く備中松山城^{しょうじょう}は夏 山本達平
 やつと寝て蚊の細声にまたおきる 新居利之
 紫陽花の目覚めるような雨の中 森口豊子
 かたつむり雨音聞いて何処^{いずこ}まで 平道はつ子
 田水張り逆さに映る鈴ヶ峰 森 浩子
 栗の花山猿すでに下見して 富田聞二
 同窓の喜寿の集いや栗の花 岳山祐弘
 寝そびれて一句ひねるも明け易し 叶岡陽二
 缶に銭落とし無人の胡瓜買ふ 谷口洋根子
 螢寄りくる父母よはらからよ 武知陸子

海部ひまわり俳句

寺の鐘蓮の浮葉に響きけり 津田 一
 胸に抱く孫が目で追う夏の蝶 西本公明
 なにもかもうちあけようか聖五月 榊原礼子
 梅雨明けぬ海老が池湖畔は淋しかり 南 歌子
 囀^{さえず}りのとだえて無念にわか雨 松田嘉子
 町へ行く登り下りに汗ばみて 元木美枝子
 行き先は東京の駅夏の空 佐藤美代子
 紫陽花の大きく咲いて七変化 穴戸道子
 緑葉^{みどりば}の濡れている村父眠る 岡 育代
 川流れ昔はめだか今鯉^{なまこ} 川野照美
 教師の声外まで届く立夏かな 福田敦子
 闇消ゆる城は落ちました息一つ 関山無門
 山濡れて清水勢ひづくいのち 佐藤薦子



海南短歌会

かるがろと淡青たんせいの空に吸われゆく鳥の翼よ 影を見失う 土谷 公代
 分蜂のみつばち柿の一枝を覆いて旅の儀式するらし 桑村 未貴子
 はれやかにスモークツリーの花が咲く今年の気候を楽しむように 細野 綾子
 やわらかく絞ったガーゼの形してトルコ桔梗の蕾ふくらむ 蛭子 美恵子
 明け初める東の空のいろどりにしばし仰ぎぬ天の巧みを 大久保 スエ子

穴喰短歌会

うすずみの雲流れ去りわが思惟の漂うまに淡き月光つるかげ 大黒 千枝美
 春うるむ風に呼ばれし思ひしてふりむく野路に母子草萌ゆ 石井 町子
 人恋いて移りゆく日々の愛かなしみや雨にぬれ咲くあじさいの花 山崎 千栄子
 定まらぬ三十一文字に悩みつつ傘寿に向う現身み健やかに 桑野 亀乃
 梅雨空に拉致家族らも老いゆきて歳月むなし叫び届かず 舩谷 恂子
 終日を体内時計の示すまま自在に生きるこの有難さ 田井 晴代

網代川柳 六月句会より

長生きはしたいが年金先細り 中村 あかり
 捨てられぬ夢があるからまだ元気 風呂谷 いずみ
 今度こそこそわこそわのくり返し 福岡 純山
 もう一度挑戦したい壁がある 井上 可楽
 そば杖をくわぬ程度に距離をおき 石垣 小道
 少子化に深刻の度が進む今 高木 柳月
 言わずとも伝わる母の思いです 太田 一洋
 逆境に流した汗が今光る 北川 弥生
 食卓へ一品増やす嬉しい日 黒岩 一平





まちの図書館がおもしろい



海陽町には2つの図書館があります。海南図書館と穴喰図書館です。

海陽町立図書館では、「いつでもどこでもだれでも」をモットーに、子どもさんからお年寄りの方まで、できるだけたくさんの方に多くの本を読んでもらうことを願っています。蔵書は両館合わせてどちらの図書館の本を借りていただいても結構ですし、どちらの図書館に返していただいてもかまいません。貸し出しの他にもいろいろな催しを行っています。町のみなさんの図書館です。お気軽にご利用ください。

海南図書館 電話 73-3591

穴喰図書館 電話 76-1030

読書会

2カ月に一度読書友の会のメンバーが図書館に集まり、お茶を飲みながら自分の読んだ本を紹介し合っています。興味深い情報満載です。



おはなし会

ボランティア団体「にもの会」(海南)と「ミネルパの会」(穴喰)が毎月1回おはなし会を開催しています。紙芝居や絵本の読み聞かせなど、幼児・小学生が楽しめる内容です。誰でも無料で参加できます。

- ◆「にもの会」のおはなし会
毎月第1土曜日10時より(海南図書館)
- ◆「ミネルパの会」のおはなし会
毎月第2土曜日10時半より(穴喰図書館)

まつかぜ号



「まつかぜ号」とは、町内9カ所を巡回する移動図書館のことです。巡回場所・日時は次の通りです。どなたでも利用できます。

- ◆第1・第3水曜日
 - ・海部小学校 9:40～
 - 12:50～
 - ・二葉保育所 15:00～
- ◆第1・第3水曜日
 - ・穴喰小学校 9:40～
 - 12:50～
 - ・穴喰保育所 11:00～
- ◆第2・第4水曜日
 - ・海部西保育所 10:30～
 - ・竹ヶ島 13:00～
 - ・恵の園保育所 14:00～
- ◆第2・第4木曜日
 - ・海南保育所・幼稚園 9:30～
 - ・浅川支所 14:15～

作品展示

穴喰・海南両図書館では小学生から一般の方々までのいろいろな作品を展示しています。展示を希望される個人もしくは団体の方は図書館までお問い合わせ下さい。



俳句展

読書感想画展

植物採集名付け会

工作教室

毎年、小学生を対象にした、植物採集の名付け会と工作教室をおこなっています。どちらも無料です

※開催予定日

8月22日(穴喰図書館)

8月23日(海南図書館)



工作教室

名付け会